

<b>授業科目</b>  Evidence-based  Practice 特論	<b>科目概要・形式</b>  1 単位 15 時間(8 コマ) 講義科目	<b>配当年次</b>  博士前期 1 年次 後期開講	<b>オンライン参加</b>  ☑・不可
<b>科目責任者</b>	大西 基喜		
<b>担当者</b>	森本 剛 (非常勤・兵庫医科大学)、小池 竜司 (非常勤・東京医科歯科大学)、大西 基喜		
<b>1. 科目のねらい・目標</b> EBP(Evidence-based Practice)の意義・手法の基本と、具体的な論文の批判的吟味やその適用を行うことで、EBP の実践的な方法を理解し、修得します。また、研究論文の作成までも含む内容で講義・演習を行い、研究上の実践能力を高めます。			
<b>2. 授業計画・内容</b> 【森本剛】(4 コマ) ・論文についての理解を深め、その読解、作成、プレゼンの能力向上をめざす (以下) 1. 論文の構造の理解する (講義) 2. 論文から情報を読み取って、臨床決断に適用する (演習を交える) 3. グループで仮想研究作成 (演習) 4. アカデミックプレゼンテーション・ライティング (仮想研究の発表・質疑対応)  【小池竜司・大西基喜】(各 2 コマ、計 4 コマ) ・EBP の歴史的意義、医学関連部門の科学的基盤を理解する (講義) ・具体的な論文の批判的吟味と臨床応用を考える (演習) 横断研究～メタアナリシスの論文をいくつかとりあげる			
<b>3. 教科書、参考書</b>			
・論文は事前に配布します。【小池・大西】			
<b>4. 成績評価方法</b> 出席状況や課題へのレポートなどから総合的に評価します。			
<b>5. 受講要件</b> 特にありません。			
<b>6. 社会人学生に対する配慮</b> 基本的に対面とオンラインの組み合わせのハイブリッド型で授業を行います。 社会人が受講しやすいよう、土曜日・日曜日・祝日に集中的に講義します。			
<b>7. その他</b>			